



小合中だより



小合中ホームページ

教育目標「自主 協力 創造」 重点目標「自己管理能力の育成」 420号 2025年6月30日

新潟市体育大会を振り返って



三年間で学んだこと。

野球部に入部したばかりの頃の僕は、野球のルールを全く知りませんでした。まずは野球のルールを知ろうと本をたくさん読んで勉強しました。そのおかげで、試合でもチームのみんなに声掛けするなど、積極的に行動できるようになりました。全国に繋がる最後の大会では、一回戦で負けてしまったけれど、諦めずに最後まで協力し合うことができて、とてもよかったと感じています。

今まで、教えてくださった指導者の皆さん、保護者、仲間、そして、最後まで諦めずにやり切った僕に、感謝したいと思います。

野球部 ○○ ○○ さん

今回の大会は合同チームで出場しました。最初はどうもコミュニケーションが取れず、チームの連携に不安がたくさんありましたが、多くの練習を通して少しずつ息が合っていました。会うたびに仲が深まり、信頼し合える仲間になりました。本番では、緊張しながらもチームみんなで声を掛け合いながら、最後まで全力で戦うことができました。

結果は悔しいものでしたが、合同チームだからこそ学べたことが多く、貴重な経験になりました。バスケの楽しさや仲間の大切さを、改めて感じる事ができました。最高の思い出になりました。

バスケットボール部 ○○ ○○ さん



市内大会では、自分の中で納得のいく結果ではありませんでした。今まで頑張ってきた分、最後に勝ちたいという思いが強く、本当に悔しい結果になりました。最後の市内大会ということもあって大会前から緊張して、そんな時に部長としてみんなの緊張をほぐすことができませんでした。ミスをした時「大丈夫！」などと何度も声をかけてくれたペアの存在が心強かったです。

3年生は6月14日(土)に行われた春季秋葉区近郷大会(団体戦)が引退試合となりました。試合は雨のため途中で中断され、そのまま中止となってしまいました。それでも、一人一人に「笑顔で!!最後まで楽しんで!!」と声をかけ、最後にみんなが楽しんでプレーしている姿を見られて、部長としてとても嬉しかったです。最後の最後まで戦うことができなかったのは悔しいですが、最高の仲間と一緒にテニスをする事ができて良かったです。ソフトテニス部での時間は、私の宝物です。

ソフトテニス部 ○○ ○○ さん

※ 今回、掲載できなかった種目については次号以降に紹介予定です。



三年間の感想。

部活に入る前は、卓球の知識はほとんどなく、先輩にいろんなことを指摘されてばかりでした。しかし、そのたくさんの指摘を受けたり、教わったりして、大会でも戦うことのできる実力を身に付けることができました。2年生になり、先輩たちが引退してからは部長として後輩にルールや卓球のコツを教える立場となりました。自分は他者に教えることが苦手です。それでも、自分ができることは、できるだけやりました。今、思うと、後輩に教えた経験は将来に活かそうだな、と思います。

今の自分があるのは、コツを教えてくれた先輩や顧問の先生のおかげだと思います。みなさんに感謝したいです。

卓球部 ○○ ○○ さん

今、頑張っていることは野球です。その中でもバッティングを強化しています。素振りをしたり、トスバッティングをしたりする毎日です。もう一つ、力を入れているのがピッチングです。毎朝、登校前にシャドウしています。休日には、キャッチャーに対して、バッターを想定しながら配球を考えて練習をしています。河川敷などに行って守備練やピッチング練習もたくさんやっています。

チームでは、今、走塁練と守備練に力を入れています。チーム全体として盗塁やスクイズの成功率を上げるよう、戦術的に取り組んでいます。そして、守備練ではランナーを入れ様々な状況を想定して実践的に練習しています。

これからたくさん練習をして、チームの目標である「県 No.1」を目指して頑張ります。

野球種目 ○○ ○○ さん



僕は○○○○というバスケットボールクラブに所属しており、市内大会に出場しました。僕たちのチームの目標は北信越大会出場です。その目標を達成するために練習に励んできました。僕たちのチームはディフェンスに強く力を入れています。本番でも仲間と声を掛け合い、点を取り勝つことができました。オフェンスからディフェンスへの切り替えの速さなども意識して取り組んでいました。

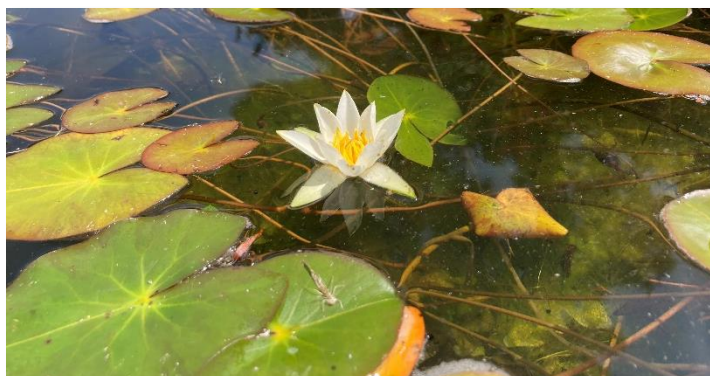
個人としては、ディフェンスが得意なので強度をあげてしっかり守ったり、自分のポジションの仕事をしっかりしたりしました。今回の大会では、改めて仲間との協力の大切さなどを学ぶことができました。まだ試合は続くので、普段の練習から力を入れて一つでも多く勝てるように頑張っていきたいです。目標を達成するために、頑張ります。

バスケットボール種目 ○○ ○○ さん

学びを深める

2年生が校庭で野菜を栽培しています。様々な方とかかわりながら農業体験する活動を通して、地域を理解し、農業や職業への考えを深めます。

コミセンに販売ブースを設置していただきました。ぜひ、お立ち寄りください。



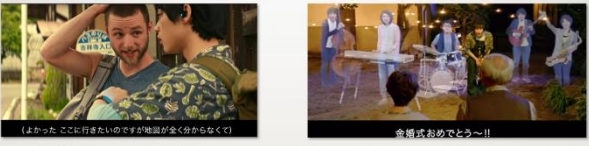


小合中、そして社会のデザイナーであれ！

～ 6月2日（月）全校朝会より ～

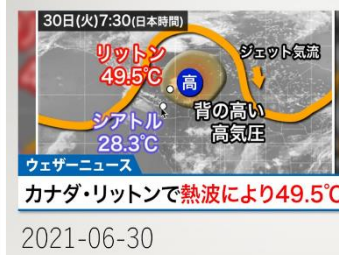
総務省
「5Gでつながる世界」

05



瞬時に翻訳 遠隔での想いの共有

科学技術 + 感情 ⇒ 価値



VUCA



VOLATILITY UNCERTAINTY COMPLEXITY AMBIGUITY

12

V Volatility (不安定性)
U Uncertainty (不確実性)
C Complexity (複雑性)
A Ambiguity (あいまい性)

私たちにあって、嬉しいことも切ないことも
変化があまりに早い！
考えているうちに、状況が変わってしまう！

変化することを恐れず。
少しの見通しをもてたら
前進しよう！

ひと、もの、ことがらと
かかわることが重要

状況の変化に対応
独りよがりにならず、様々な考え方

わくわく
は原動力。
わくわく
を大切に、



16

ひと、もの、
ことがらと
かかわろう

すでにみなさん、
ひと、もの、ことがらと
たっぷり、かかわってます



委員会活動（草取り）
学習活動（人権講和）
行事的活動（ウォーキング、生徒総会）

21

自己や集団をデザイン
小合中をデザイン

みなさんの取組のすべてが
小合中をデザイン
社会をデザイン

自己、集団、小合中、
小合地域、秋葉区、新潟市、県、国、世界、...

A I に代表されるように、科学技術が加速度的に発展しています。また、地球規模での環境破壊や自然災害、感染症也多発しています。今、嬉しいことも切ないことも、人類の歴史に類を見ないほどの速さで起きているのです。きっとこれからも。ですが、全く不安に思う必要はありません。常に“わくわく”を大切に。“わくわく”は原動力ですから。そして、沢山の“ひと・もの・ことがら”と積極的にかかわろうとする姿勢を大切に。かかわることで、状況の変化に気づき、多面的・多角的に判断できますから。

あなたは、いつでも誰か・何かをデザインしているのです。あなたの取組の全てが、仲間や集団により影響を与えているのです。小合中を、そして社会をデザインするのです。ぜひ、“わくわく”しながら、より多くの“ひと・もの・ことがら”とかかわりましょう。これこそが、これからの時代を生きる力となるのです。



古紙回収デザイナー始動！

「古紙回収イベントをデザインしてほしい」という私（永井）の願いに、7名が手を挙げてくれました！

〇〇 〇〇さん、〇〇 〇〇さん、〇〇 〇〇さん、
〇〇 〇〇さん、〇〇 〇〇さん、〇〇 〇〇さん、
〇〇 〇〇さん、とても嬉しく感じています！

古紙回収デザイナー7名には、なぜ古紙回収を行うのか、小合中にとってどのような価値があるのか、等を考え、みなさんと合意してもらう予定です。

デザイナーのみなさんこそ、わくわくして取り組んで下さいね！ 私は既に、わくわくでいっぱいです♪



お願いします！



お知らせ

古紙回収8／16（土）実施！ 朝7:30までに
各町内のゴミステーションのすぐ脇に出して下さい！
※市の通常のゴミ回収日ですので、ケージのすぐ外・脇へお願いいたします



5月29日（木）お笑い集団NAMARA 森下英矢さんを講師にお招きして人権講演会を行いました。森下さんは、ご自身が小さいころに経験したことやご家族の話などから、様々な考えを認め合うことの大切さについて話をしてくださいました。会の中盤、「どぶの中に落ちたお金、いくらだったら拾う？」という森下さんの問いかけに、全校生徒が頭を抱え考え出した回答は、1円でも拾う人がある一方で、1万円でも拾わないと答えた人もいました。森下さんからは「同じ環境で育っても様々な価値観をもっている人がいて、正解はない。自分の考えをしっかりともち、自分と考えが違っていても、発想の転換をすることで相手の良さに気づき、褒めることができる」とお話いただきました。森下さんの楽しい話術に生徒は引き込まれ、終始にこやかに、楽しく学ぶことができました。



亀田総合体育館 にて



鳥屋野総合体育館 にて